

平成 30 年 11 月 6 日  
公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構  
平成 31 年度全国高等学校総合体育大会  
鹿児島県高校生活動推進委員会

## 平成 31 年度全国高校総体（インターハイ）鹿児島県高校生活動における 「スポーツの価値」を発信するプロジェクト連携について

この度、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構（以下、JADA）は平成 31 年度全国高等学校総合体育大会（以下、南部九州総体 2019）鹿児島県高校生活動推進委員会と連携し、鹿児島県高校生活動\*において、「スポーツの価値」を高校生が主体的に考え、発信する以下のプロジェクトを開始します。

- 1) スポーツの価値をイメージしたメッセージボードの制作とメッセージの発信
- 2) スポーツの価値をテーマとした作文コンクール

本プロジェクトは、JADA「スポーツの価値を基盤とした教育（スポーツ庁委託事業）\*\*」の一環として実施するもので、インターハイを通してスポーツを「する」、「みる」、「支える」という観点からスポーツの価値を考え、その価値を高校生が自身の言葉で表現し、発信します。そして、高校生が互いのスポーツの価値を尊重し、共創的な観点を持つことでスポーツにより大きな感動を生み出すという学びにつなげることを目的としています。

<活動詳細>

### 1) スポーツの価値をイメージしたメッセージボードの制作とメッセージの発信

#### 【内容】

高校生が「スポーツの価値」や、南部九州総体 2019 の大会愛称である「感動は無限大」をイメージしたメッセージボードを制作します。そして、スポーツを「する」、「みる」、「支える」多様な人々が、そのボードに、大切にしたいスポーツの感動をメッセージとして書き込みます。

#### 【メッセージボードデザイン】

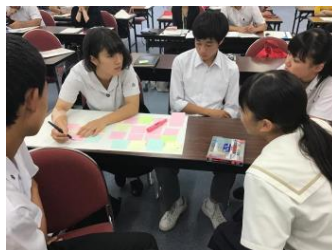
赤いメガホンは、アスリートのエネルギーや、一生懸命な姿を熱く応援することを表現し、その中心に「無限の感動」があります。青はフェアプレイや絆を表しました。

黄色の吹き出し部分は、メッセージを発信することで自身が成長していく姿や、広がっていく笑顔を象徴しています。



#### 【活動】

ボードのデザインは、平成 30 年 9 月 27 日に開催された高校総体開催 300 日前イベント運営委員会にて話し合いました。「スポーツで感動したシーンに似合う色」「スポーツやスポーツ以外の場面でも一生懸命な人に似合う色」「メッセージボードに様々な人に参加してもらうためには、どのような形のボードが良いか」などをグループで意見を出し、その意見を取りまとめボードデザインを作成しました。



平成 30 年 11 月 3 日の開催 300 日前イベントから、メッセージを集め始めます。また、それ以降の高校生活動において、様々な人が参加できる機会を検討し、共にメッセージを発信していきます。

**【展開】**

集めたメッセージは、SNS を通して発信していくと共に、南部九州総体 2019 総合開会式の高校生活動ブースにおいて展示する予定です。

**2) スポーツの価値をテーマとした作文コンクール**

**【内容】**

南部九州総体 2019 の大会愛称のフレーズである「感動は無限大」は、多様なスポーツの価値によって構成されることを踏まえ、「私にとってのスポーツの価値」というテーマで作文コンクールを行います。

本コンクールの参加を通して、「スポーツの価値」を高校生が主体的に考える機会とし、スポーツを「する」だけでなく「みる」「支える」という 3 つの視点から、自らの経験や、調べたことを自身の言葉で表現します。そして、その価値をスポーツの領域だけでなく、日常生活にも生かそうとする態度を身につけると共に、高校生の南部九州総体 2019 への多様な関わり方を促します。

**【活動】**

詳細が決定し次第、改めて御案内いたします。

**※高校生活動**

インターハイを開催する地元高校生が、大会の成功に向けて、企画・準備・運営に主体的に関わり、多様な活動を展開します。大会の広報活動や、総合開会式式典の企画などが高校生活動推進委員会を中心に組み込まれています。1972 年の山形県でのインターハイにおける活動がスタートだと言われており、各開催期間の交流等を経て、現在まで引き継がれています。

- 南部九州総体 2019 高校生活動  
<https://www.koukousoutai.com/2019soutai/activity/>

**※※スポーツの価値を基盤とした教育（スポーツ庁委託事業）**

2013 年より、高等学校学習指導要領の保健体育編に「オリンピックムーブメントとドーピング」の項目が明記されたことを背景に、アスリートだけでなく、すべての高校生を対象に「スポーツの価値」を基盤としたアンチ・ドーピング教育が実施されています。当該教育推進、支援のため、日本アンチ・ドーピング機構では指導案や教材の提案、モデル校との意見交換、ワークショップの開催を行っています。高校総体との連携は、南東北総体 2017 にて初めて行い、南部九州総体 2019 は 2 回目の連携となります。

- スポーツの価値を基盤とした教育特設サイト  
<https://www.school.playtruejapan.org/>
- 南東北総体 2017 との連携  
<https://www.school.playtruejapan.org/report/767>

<本件問合せ先>  
公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構  
広報担当 高須  
電話：03-5963-8030